

東北メディカル・メガバンク機構(ToMMo)倫理委員会
議事要録

【日時】2015年6月15日(月)16:00~17:45

【場所】東北メディカル・メガバンク棟3階 小会議室1

【出席者】呉委員長

長神、菊谷、松居、中谷、山崎、森口、福與、高橋、石垣、小川、三代、
の各委員

【欠席者】境田委員、圓増委員

【議事】

1. 倫理委員会(平成27年5月18日開催)議事要録の確認について
委員長から、事前に配付した議事要録(案)について説明の後、諮り、承認された。
2. 持ち回り審査について
委員長から、持ち回り審査の結果について報告した。
 - 1) 受付番号2015-5
実施責任者: 峯岸 直子教授(バイオバンク生命科学分野)
課題名: ヒト末梢血由来細胞における酸化ストレス応答の解析
判定: 承認する
 - 2) 受付番号2015-6
実施責任者: 山本 雅之教授(東北メディカル・メガバンク機構長)
課題名: 東北メディカル・メガバンク事業 地域住民コホート調査
判定: 承認する
 - 3) 受付番号2015-7
実施責任者: 山本 雅之教授(東北メディカル・メガバンク機構長)
課題名: 東北メディカル・メガバンク事業 三世代コホート調査
判定: 承認する
3. ヒトを対象とする医学の研究及び臨床応用についての倫理審査の申請について
 - 1) 受付番号2015-8
実施責任者: 黒羽 正剛助教(地域医療支援部門・消化器病態学分野)

課題名：大腸腫瘍幹細胞の微小環境(ニッチ)の解析

判定：条件付きで承認する

主な審議の内容：

1. プロトコルにおける手順と、申請書での記述が若干食い違っているところを、実施の実際にそって整合性をもって記述すること。
2. 対象者に対して誤解を与えないよう、説明文書において、どの試料で何を解析するのか明確に記述すること。また、解析方法については、実施することを省略なく分かりやすく記述し、試料保存の項などの誤記を正すこと。

2) 受付番号2015-9

実施責任者：小林 朋子助教（ゲノム医学普及啓発寄附研究部門）

課題名：遺伝の仕組みと生物の多様性を学ぶための幼児を対象とした遺伝教育ツールの開発

判定：承認する

主な審議の内容：

1. 研究において、ツール配布者を観察する際の回答に客観性を担保するように留意すること。
2. 対象者に対して、万が一の不快を与えないよう、特に、親子関係に関する記述のある資料等の配布には十分留意すること。
3. 教材としての妥当性を検討するのに、多様な視点を担保すること。

4. 副委員長交代について

委員長から、境田副委員長が多忙のため、副委員長職を山崎委員に交代することについて説明の後、諮り、承認された。

5. ヒトゲノム・遺伝子解析研究の個人情報管理者について

審議の上、別紙の様式を変更し、個人情報管理者の記載が可能なように決定した。

6. 「臨床研究の進捗状況報告書」及び「ヒトゲノム・遺伝子解析研究の実施状況に関する報告書」の提出について

該当指針により、各承認課題において、平成26年度の状況を6月末までに規定の様式にて報告する義務がある旨説明があった。

7. 全学医学系研究実施委員会の委員候補者推薦について

「国立大学法人東北大学における人を対象とする医学系研究の実施に関する規程」に規定する「医学系研究実施委員会」を設置することになり、その委員として、当倫理委員会からは呉委員長を推薦することとした。

以上